

# 外国人介護職の日本語研修を考える

～介護現場で日本語力をどう向上させるべきか～

主催：早稲田速記医療福祉専門学校

外国人労働者の受入れ拡充に向け、新たな在留資格を創設する出入国管理法が、2019年4月よりスタートします。そうした中、就労現場において求められる日本語力をどのように習得させるかが大きな課題となっています。このプログラムでは、介護の日本語教育専門家による基調講演に続き、現場責任者、さらには介護施設の研修担当者が、介護現場での日本語研修はどうあるべきなのかを、パネル形式で議論していきます。

## ■日 時

平成31年1月12日(土)  
14:00～17:00  
〈受付13:30～13:50〉

## ■場 所

早稲田速記医療福祉専門学校  
8階 視聴覚室  
東京都豊島区高田3-11-17  
JR・東京メトロ・西武新宿線  
「高田馬場」駅より徒歩1分

## ■参加費：無料

## ■定 員：120名(先着順)

## ■申込方法

メールに必要事項(氏名・住所・電話番号・所属先)を記入の上送信してください。  
申し込み確認の返信を1月7日以降にいたします。

✉ [nihongo@wasedasokki.jp](mailto:nihongo@wasedasokki.jp)



## ■問い合わせ先



学校法人川口学園  
早稲田速記医療福祉専門学校  
☎ 03-3208-8461 (代表)

## ■プログラム

14:10～15:00

### 基調講演

「介護関連在留資格と日本語教育の強化・  
充実支援について」

宮崎里司 [早稲田大学大学院日本語教育研究科教授・  
日越大学(ベトナム国家大学)日本語教育  
プログラム総括]

15:15～17:00

### パネルセッション

上野友莉 (龍岡介護老人保健施設・介護福祉士)  
植村康生 (国際厚生事業団・国際・研修事業部主任)  
神村初美 (東京福祉大学教育学部准教授)  
中野玲子 (株式会社テクノスマイル JPA 技能実習  
生日本語教育プログラム顧問)  
宮崎里司 (モデレーター)

